

## 全校集会 学校長の話（2025年12月23日）

- おはようございます。きょうで2学期が終わります。  
2学期は、夏、秋、冬と、三つの季節をまたぐ学期でした。長かったようで、振り返るとあつという間だったような気もします。皆さんはどうでしたか。
  
- まず、校長として、終業式の場でもう一度触れておかなければならぬことがあります。今学期、本校で教職員による重大な不祥事が起きました。学校を信じて通っている皆さんの気持ちを大きく傷つけてしまいました。改めて、申し訳なく思っています。学校として、事実から目をそらさず、再発防止と、皆さんの安心を取り戻すことに取り組みます。
  
- ただ、その中でも、2学期の皆さんの姿は、本当に立派でした。  
体育大会。どのクラスも素晴らしいでした。勝ち負けだけじゃなく、応援の態度がとても良かったです。そして、人の頑張りをちゃんと認める空気がありました。  
体育大会と重なるように準備を進めた音楽発表会。インフルエンザの流行で2回延期になりました。それでも気持ちを切らさず、最後はみんなでやり切った。あれは簡単なことじゃないです。
  
- 学習活動でも部活動でも、毎週の賞状伝達が物語っているように、それぞれの場所で一生懸命やっていたと思います。習い事で頑張っている人も多いでしょう。学校の外で努力を続けているのも、立派な力です。2学期を通しての皆さんの頑張りに、拍手を送りたいと思います。
  
- さて、2学期の始業式で、僕が皆さんにお願いしたこと覚えていますか。  
「自分を大切にすること。そして、隣にいる人を大切にすること。」  
そして、「アガベー」という言葉を紹介しました。  
日本では「隣人愛」と訳されますが、僕は「大切にする」と理解しています。相手の尊厳を認めて、思いやる。おたがいを大切にし合う。そういう意味です。では、2学期の終わりに、改めて聞きます。
  - ✧ この2学期、隣の人を、クラスメイトを、大事にできましたか。
  - ✧ しんどそうな人に気づけましたか。
  - ✧ 相手が嫌がることを言ったり、したりしていませんでしたか。
  - ✧ その人がいないところで、友だちに悪口を言ったり広めたりしていませんでしたか。
  - ✧ 逆に、自分がしんどいとき、「助けて」「相談したい」と言えましたか。これは、学校の中だけの話ではありません。ネットの世界でも同じです。
  
- また後で、客本先生からお話をありますが、LINE、SNSで、誰かを傷つける言葉を書いたり、回したり、広めたりしていないでしょうか。画面の向こうにも、同じように心を持った人がいます。一度送った言葉は、取り消せないことがあります。リアルでもネットでも、たった一言で、楽しみにしていた冬休みが最悪なものになる。  
逆に、たった一言で、救われることもあります。
  
- だから冬休み、皆さんにお願いがあります。  
「これを言われたり、されたりしたら、相手はどう感じるか」  
「これを見たり、聞いたりした人の中に、しんどくなる人はいないか」  
そう考えてから、言葉、そして行動を選んでほしい。そして、もし自分がしんどくなったときは、一人で抱え込まないでください。友だちでもいい。家人の人でもいい。先生でもいい。必ず誰かに相談してください。相談することは弱さではなく、自分を大切にする強い力です。
  
- 3学期も、北稜中が「明日も来なくなる学校」であるために、自分を大切にする。隣の人を大切にする。この約束を、もう一度ここで確認して、2学期を締めくくりましょう。それでは、よい冬休みを。以上です。